

令和4年(2022)6月30日(木)発行

香取市国際交流協会通信

Katori International Friendship Association
(KIFA) NEWS

Vol.21

令和3年(2021年)度を振り返って

新型コロナウイルスは変異を度々繰り返して世界の人々を物心両面で苦しめ、世界では5億人以上が感染し、6百万人超の死者を出すといった事態となっています。幸いにも、島国である日本は、COVID19の被害をぎりぎりのところで食い止めることが出来る展望が出てきたところです。日本の感染者の累計は、令和4年6月21日段階で916万人超、死者は3万人超であり、香取市の感染者は累計3千人に迫っています。

そんなコロナとの戦いをあざ笑うように、2022年2月24日にはロシアがかつて共産国ソ連の同胞であったウクライナに武力侵入するという事態が起きました。その理由は何であれ、近代国家の独立国に爆弾を打ち込むという暴挙は世界を震撼させました。ロシアは核兵器の使用だけでなく世界戦争さえ辞さない構えを見せつつ、未だ先の見えない悲惨な戦争状態が続いています。日本も対岸の火事騒ぎでは済まない状況にあり、経済的にも大きな負担を背負うことになりました。

2021年7月23日～8月8日の間、50年ぶりに一年延期で開催された東京オリンピックは無観客という異例の開催でした(パラリンピックは2021年8月24日～9月5日)。オリンピックを契機に多くの外国からの観光客が期待されていましたが、佐原の町並みから人通りが消えてKIFAの活動も止まってしまいました。3月に開催される「国際交流の集い」も3年に渡って開催中止となり、言語学習部会で取り組んでいる「日本語講座」の生徒の成果発表が出来ないだけでなく、その他の交流活動も中止せざるをえなくなりました。もちろん、KIFAの総会も3年間は開催されず、書面開催という形で推移しました。

2022年度はウイルス感染も下降状態に入り、外国人の受け入れや人の流れも緩和されてきましたので、明るい展望が見えてはきましたが、ロシアのウクライナ侵攻と合わせてウイルスの変異の動向にはさらに注意していかねばなりません。

2021年10月4日には、新しく岸田文雄首相が誕生し、新しい資本主義を旗頭にして、ウイルス禍後とウクライナ情勢による経済の立て直しに取り組むこととなりました。

本年に入り限界自治体に認定されてしまった香取市を見回してみると、7月の夏の佐原の大祭は、感染対策を万全にして各山車は町内のみ引き回しですが開催されることになり、サイパン市との姉妹都市交流の締結ができて、三菱館の復原工事が完了し、旧川崎銀行の雄姿が甦りました。伊能忠敬の死が3年間隠されたエピソードを素材にした映画「大河への道」も公開されました。

そして、3年ぶりで香取国際交流協会の対面による総会が開催されることとなりました。



令和4年度 香取市国際交流協会定期総会

日時 令和4年7月1日(金)
午後4時開会

場所 香取市役所5階 大会議室

内容 令和4年度 定期総会の開催について、その他

(総会に先立って理事会を開催致します)

令和3年度 香取市国際交流協会の事業

言語学習部会

通年事業 日本語教室（毎週日曜日、佐原中央公民館で開催）
 中国語教室・太極拳（毎週土曜日、佐原中央公民館で開催）
 ※新型コロナウイルス感染症の影響で休止の期間あり
 日本語ボランティア養成講座の開催

交流部会

令和3年 1月 6日（土）英語でウォーキング（香取神宮）
 1月 2日 4日（土）英語でクラフト体験（切り絵の体験）
 令和4年 1月 英語でパレンティンデー（水郷小見川青少年自然の家主催の協力事業）：新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。
 3月 KIFA 国際交流パーティー2021：新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。
 その他の事業 ホームステイ受け入れサポート（令和3年度の実績なし）

通訳ガイドボランティア部会

通訳ガイド事業 令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、JRバス関東（株）事業が休止状態となり、通常に通訳ガイドも感染拡大防止のため休止。

その他の事業 定例会議（月一回）
 市民を対象とした日常の英会話講座 Living English in Katori（4/28 5/12 5/26 6/16 6/30 7/14 7/28 9/22 10/13 10/27）の全10回

会場：佐原町並み交流館
 香取市からの通訳依頼事業

- 1, サイパン市との姉妹都市協定締結式（R3/10/29）
- 2, 水郷三都観光推進協議会バーチャルツアー（R3/11/13）
 水郷三都観光推進協議会主催の観光PR事業（オンライン）での通訳の実施。
- 3, スロバキアチームのキャンプ記念銘板お披露目式（R4/3/5）
 ・東京オリンピックで銅メダルを獲得したスロバキアチームが香取市で事前キャンプを実施したことを記念した銘板のお披露目式でスロバキア大使の通訳の実施。

総務研修部会

令和3年 5月17日（月）正副部会長会議
 6月 理事会・定期総会（書面による開催）
 7月 香取市国際交流協会通信 Vol.21 発行
 その他の事業 協会ホームページのコンテンツを随時更新



令和3年度／正副部会長

部会名	部会長	副部会長
言語学習部会	沖 祝子	高田 剛
交流部会	伊能 楯雄	川上みちよ・吉川玲子
通訳ガイドボランティア部会	岡澤 美奈子	安藤 登志子
総務研修部会	新井 勝治	篠塚 登志子

三菱館の修復工事が終わる 商都佐原の象徴・旧川崎銀行がよみがえる



完成お披露目のテープカット R4.4.9. Sat.



英語でウォーキングで館内見学 R4.5.14 Sat.

言語学習部会

「日本語教室」の現状報告

言語学習部会・副部会長 高田 剛
 昨年度は、コロナ禍のため開催日が少なく、また外国人学習者も少なく、我々の士気も上がりませんでした。良かったことと言えば、日本語能力試験で中国人の学習者の一人がレベルN1に合格、ベトナム人の学習者の一人がN2に合格したことです。

そこで、本年度はさらに学習者が増えるように、学習者の希望に出来るだけ添えるような運営の試みを始めました。

1. 開催日を日曜だけでなく、木曜日（15:30~17:00）にも開催し、日曜日に来られない学習者にも門戸を開く。
2. 外国人従業員を抱える市内の企業向けに出前授業をする。
3. 外国人学習者には、KIFA の会費を免除する。
4. 常に学習者と講師との連絡を維持する。

以上のことを心がけて2022年4月から運営を始めました。現在は、日曜日に継続して参加してくれているのは、中国2名、台湾1名、アメリカ1名の合計4名と講師6名・ヘルパー2名です。木曜日は、スリランカ2名、タイ3名、中国1名と講師が3名です。

出前授業は、1社のみで、学習者はフィリピン26名（木、日の2回に分けて13:30~14:30）と講師1名です。

確実に学習者は増え、講師の先生たちのモチベーションも上がりつつあります。KIFA の日本語講師のミッションは、ボランティアで香取

市内在住の外国人の日本語能力をUPさせることです。

日本語教師の資格は検定試験に合格するか、大学または専門学校で日本語教育の講義を受けることで取得できますが、「KIFAの日本語教室」ではその資格を必要としません。日本学校か小・中・高校で国語を教えたことがある元先生なら、年齢制限なし welcome です。

現在のメンバーは、日本語学校の現役・元先生が3名、元学校教員が4名、現役の塾講師が1名です。日曜日の学習者ももっと増えれば増員しますが、しばらくは現状維持で行こうと思っています。

これからも我々は、ミッション達成のためKIFA の日本語教師の名誉のために力を尽くしたいと思います。



【写真左】は木曜日の日本語教室風景（佐原公民館）【写真下】は日曜日午後、小見川 S.T.FARM での出前授業。



太極拳のメンバーは元気です

総務研修部会・副部長 篠塚 登志子
コロナ感染症の流行も3年目を迎えています
が、私達太極拳のメンバーは明るく元気に頑張
っています。

活動を開始して、今年で12年目となる太極
拳は、毎週土曜日の午後1時半から3時まで、
佐原公民館で練習しています。地道にやってい
たらいつの間にか、生徒数が増えて、今では1
6名になりました。先生は、長く日本に住んで
いる中国人の女性ですが、流暢な日本語でい
ねいに教えてくれます。毎回、準備運動を入念
に行い、それから二十四式、三十二式へと進め
ていきます。

今は、まだコロナの影響で外国人観光客の案
内もないので、他に運動をしていない私は、こ
の週一回の太極拳を楽しみにしています。

交流部会

今年こそは.....

交流部会・副会長 川上 みちよ
KIFAの総会が、久しぶりに開催されます。そ
して、佐原の夏の大祭も。長く暗かったトンネル
の出口がようやく見えてきたように思えます。

交流部会の昨年度は、11月に干支の寅をモチ
ーフにした切り絵の「英語でクラフト」を開催し
ました。しかし、1月以降の行事は再び中止とな
り、秋開催から延期をしていた国際交流パーティ
ーは、三度目の中止を余儀なくされてしまいま
した。



英語でクラフト (寅の切り絵) R.3.12.4.

今年度は、5月に早々と「英語でウォーキング」
を開催しました。震災後、復旧復元工事を終えた
三菱館。大正3年の建設当時を思わせる内装を見
ることが出来ました。そして、「まちぐるみ博物館」
に飾られた五月人形、この時期ならではの展示の
数々を目にしながら、佐原の町並みを歩きました。
毎年、年度末に開催している国際交流パーティ

ーは、日本語教室の皆さんにとって、スピーチ発
表の大切な機会です。パーティーの形が変わった
としても、スピーチ発表だけは是非実現させたい
です。

昨年も書きましたが、交流部会としては、夏の
「お茶を楽しむ会」がひとつの大きな行事です。
そして、この行事が再開できることが、交流部会
にとってのコロナ禍の終息と考えています。

今年こそは.....



英語でウォーキング (香取神宮) R.3.11.6.

令和3年度 交流部会事業報告

○英語でウォーキング

令和3年11月6日 (土)

香取神宮で、リチャード先生を講師にお招
きして開催しました。平成27年度より年一
回してきています。菊花大会が開催中の香取
神宮でウォーキングを行いました。お天気も
良く、岡澤副会長さんのご子息の結婚式の当
日でもあり、参加者全員でお祝いすることが
出来ました。資料をもとにリチャード先生が
神宮について英語で説明してくれました。

ウォーキングの後のお茶も恒例となってい
ますが、今回は亀甲堂の二階で、お団子を食べ
ながら英会話の続きを楽しみました。参加
者は17名でした。

○英語でクラフト 「切り絵」

令和3年12月4日 (土)

佐原町並み交流館にて、野口正博氏の指導
で、新年の干支である寅を制作しました。同
じデザインでも、それぞれが選んだ台紙の色
により、随分ちがった寅が出来上がりました。
参加者は15名でした。

○英語でバレンタインデー (小学生親子対象)

1月29日開催予定が、新型コロナウイルス
感染症拡大により中止となりました。

○KIFA国際交流パーティー

令和3年10月24日 (日) に規模を縮小
して行われる予定でしたが、令和4年3月2
0日に延期になり、その後もウイルス状況は
好転しなかったため、やむなく中止となりま

した。

2019年、2020年に続き、3年連続
の中止となってしまいました。

少しずつ、一歩ずつ前進

交流部会・副会長 吉川 玲子

令和3年、自粛生活が続く毎日の中で、いくつ
かの行事が開催出来たのは嬉しい事です。

11月6日の香取神宮への参詣ツアー

リチャード先生の英語の説明を聞きながら、池
や鳥居・本殿・周囲の散策、そしてメンバーの岡
澤家ご子息の婚礼を全員で祝いました。

帰りは入口のお茶屋の二階で団子を食べながら
英会話タイムを過ごした充実した半日でした。事
前にパンフレットや案内を香取神宮からいただい
ており、大変参考になりました。

12月4日の切り絵教室

例年通り野口先生の指導で、令和4年の干支の
寅を切り抜きました。野口先生も時々英語で説明
し、今回は KIFA のメンバーも切り絵に挑戦して
見事な作品を仕上げました。リチャード先生には
イギリスの新年の様子を教えてくださいました。

12月末の小見川少年自然の家主催のバレンタ
イン行事へのお手伝いは、コロナ禍ということで
中止になってしまい大変残念でした。

年が改まり、令和4年も明るい幕開けになる
というわけにはなりません。春予定の国際交
流パーティーの日本語スピーチ大会を準備してい
ただいていた参加者はじめ関係者の皆さんには延
期となってしまい、本当に気の毒な結果になって



手芸展出品作品 "LOVE WORLD"
(小見川いぶき館) R.4.5/11~15

しまいました。

3月5日の小見川スポーツコミュニティーセン
ターでスロバキア駐日大使夫妻をご招待しての行事
に通訳としてお手伝いの要請を受けました。スロ
バキア語の「ドブリーデン (今日は)」と「チェク
エン (ありがとう)」でお迎えし、無事に楽しく行
事を終了できました。久しぶりの外国の方々をお
迎えし、充実した時間を過ごすことが出来ました。

5月14日の佐原の町並み散策には、私は残念
ながら参加できませんでしたが、楽しい散策が出
来たと聞いております。私は小見川の「いぶき館」
で5日間の手芸展に参加して、作品の飾り付けや
案内をやっておりました。800人ものお客様を
お迎えして、一大事業を無事終えました。

以前のように外国の方々の案内、お祭のお手伝
い、各種イベントの開催の出来る日の来ることを
心待ちにしております。

通訳ボランティアガイド部会

KIFAのこの2年半と

これからの1年

通訳ボランティアガイド部

会長 岡澤 美奈子

コロナウイルスが世界中に暗躍し始めて2年半
が過ぎようとしている。私達の日常生活は根底か
ら覆されて、半日常が日常になった。日本に来る
外国人は全くいなくなり、国際交流協会の活動も
大きく制限された。その社会状況の中で出来る活
動を細々と続けている。"継続は力なり"の言葉を
信じて、今出来ることをやってきた2年半だった。

今年度になり、状況が少しずつ改善されてきて、
私達の活動にも灯りが見え始めてきた。今年度は、
対面での総会が予定され、佐原の夏の大祭も開催
される予定であり、その準備が進められている。
6月10日から外国人観光客の来日が許され (ツ
アー客のみ)、少しずつではあるが、本来の形に戻
りつつある。今年は、外国人の入国の幅を徐々に
広げて、コロナの状況を見つつ、フェイズが一段
上がるのは来年度になるだろうと予想している。

その来年度に向けて、今年出来ることをしてお
きたいと皆で会議を重ねてきた。姉妹都市とな
ったサイパン市からの受け入れにそなえて準備が進
められている。市民対象の英会話教室ではホーム
ステイを受け入れた時に必要になるだろう英会話を
学習している。そしてホストファミリーのための
研修も計画している。ホームステイの受け入れ
が現実となれば、当会員の方々だけでなく、市民
の方々にもご協力をいただくことになるだろう。
その時になって慌てないように、今が準備の時と

考えて、考え得ることを一つずつやっつけていこうと思っている。

耳を澄ませると、外国人の足音がほんの少しではあるが、聞こえてきている気がする。久しぶりにワクワクする気持ちと、本当に元の状態に戻れるのかという不安な気持ちが入り混じった、不思議な感情の中に居る。

現在、一番心にかかっていることは、佐原の夏の祭りの三日間（外国人への対応は午前10時～午後10時までの12時間）をやり切れるだろうかということだ。暑くて大変な三日間になるだろうと予想している。何はともあれ、活動できることに感謝して、外国人への対応活動を楽しみたいと思う。

令和3年度の活動

通訳ボランティアガイド

副部長 安藤 登志子

一昨年の2月以来、インバウンドはなくなり、ボランティアガイド通訳は開店休業状態が続いています。

でも、リビングイングリッシュだけは、香取市民の方々を対象なので開催できて良かったです。参加者の皆様が、生き生きと英会話を楽しんでいる様子を拝見するのは、私たちにとって大きな喜びです。

本年中に、海外からのお客様を迎えられる状態になれば、参加者の多くの方々にも実際に英会話の体験をしていただけるのではと期待しています。

佐原の夏の祭りも開催されるようですので、街中を沢山の外国人の方々が歩いている光景を想像すると浮き浮きしてきます。

ただ一つ心配なのは、この2年半の間、ほとんど案内で町並みを歩いていないので、自分の体力が耐えられるかどうかということです。

そろそろ、今の内から、体を慣らしておかなければと思っているこの頃です。

本年度中には、国際交流パーティーも開催できるようになることを望んでいます。

コロナ禍以前の日常がまた戻ってきて、色々な国の人達と交流できるようになったら、こんな嬉しいことはありません。

令和3年度 LIVING ENGLISH の英会話風景

左より：岡澤さん、グラント先生、テルサさん（グラント先生夫人）、テイさん（タイ・国際交流員）、アチャリーさん（タイ・10月に帰国）などの沢山の講師を迎えて開催しました。



本当に豪華な講師陣がそろいました。



テルサさんが積極的に受講者に話しかけます。



コロナ禍小康状態(2021.5.)の中で多数の受講者



グループ毎に分かれて活発に練習します。

サイパン市とスロバキア国との交流



サイパン市との姉妹都市協定締結式 R.3.10.29.
(企画政策課・小林課長。川上さんが英語通訳担当)



スロバキアチームキャンプ記念銘板お披露目式 R.4.3.5.
(川上さんが英語通訳担当)



スロバキアチームキャンプ記念銘板お披露目式 R.4.3.5.
(スロバキア大使・書道体験。その1)



スロバキアチームキャンプ記念銘板お披露目式
(スロバキア大使・書道体験。その2)



水郷三都バーチャルツアーで安藤登志子さんが佐原を英語で観光PR (R.3.11.13.)



総務研修部会

総務研修部会長 新井 勝治

KIFAの活動が、一部のイベントを除いて活動停止状態であったため、定例会議や正副部長会議の中で、折角の議論がなされながらも中止や延期になった案件がありました。

研修事業としては、市原市との交流が提案されて、市原市との話し合いも順調に進んでいたのですが、コロナの再拡大によって延期となってしまいました。とても残念です。2022年度には、香取市の活動を刺激してくれる研修事業の実現が再開できるよう願っています。

年一回の「KIFA 通信」の発行には、各部会の皆さんの貴重な体験を寄稿していただき本当に有難うございました。事務局には印刷だけでなく様々な記録資料を保存していただきありがとうございます。

さらに、総会の書面開催にかかわって、諸連絡の煩雑な事務を執行していただいた事務局の皆様には本当に感謝しています。

香取市とサイパン市が

姉妹都市の協定を締結

交流部会・副部長 川上みちよ
平成30年からの話し合いと交流を経て、両市の姉妹都市協定が、令和3年10月29日に締結の運びとなりました。締結式は香取市役所においてオンラインで行われました。これにより、将来にわたって、教育、文化、産業、スポーツなどの幅広い分野にわたっての交流が期待されます。

香取市国際交流協会としても、ホームステイ受け入れの際の協力を考えております。

ホストファミリー交流会イベント

将来、ホームステイ受け入れの機会が予想されることから、ホストファミリー経験者の方とこれからホストファミリーになってみたいという方との交流会を10月29日(土)に開催する予定です。

話を聞いてみたいという方も大歓迎ですので、ぜひ、多数の皆様のご参加をお待ちしています。



八坂神社境内で通訳ガイドから佐原の大祭の説明を聞く市長一行。 令和元年5月14日



八坂神社境内の「山車会館」で山車人形の素晴らしさを堪能された。 令和元年5月14日

国際交流協会事務局より

根本・会田

新型コロナウイルス感染症の発症から約2年が過ぎました。ワクチン接種も進んでいる状況ではありますが、未だに協会の活動は大きな影響を受けています。

しかし、感染拡大防止対策を取りながら、各部会は教室やイベントを開催しています。また、多数の会員の皆さまが、その開催を大変楽しみにして参加していただいているということで、事務局としても嬉しい限りであり、活動を計画する励みともなっています。

今後も、感染状況を注視しながら、岡澤副会長をはじめとして、多くの役員の皆様と協議しつつ活動に取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続き協会の諸活動にご協力をいただきたくお願いいたします。

香取市国際交流協会

Katori International Friendship Association

〒287-8501 香取市佐原口 2127

事務局 香取市役所・市民協働課

電話 0478-50-1261 Fax 0478-52-4566

Email: kikaku@city.katori.lg.jp



オンラインでの姉妹都市協定締結式には、当会から岡澤副会長が出席。令和3年10月29日



2年前にサイパン市長が佐原を表敬訪問した際、佐原の町並みを案内した。令和元年5月14日